

授業科目	相談援助演習IV					単位	1					
履修	選択	関連資格	社会福祉士		ナンバリング	WE31227J						
開講年次	3年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2							
担当教員	荒木 剛、岡田 和敏、山根 正夫、納戸 美佐子、通山 久仁子											
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>各福祉分野の実務家教員が自らの実践経験を踏まえて、福祉的課題を抱えた人々への相談援助の事例を活用し、相談援助の展開とそこで活用される専門的な知識・技術の習得に向けた実技指導を行う。また、実習後には各自の実習体験を踏まえた集団及び個別による実技指導を行う。</p> <p>なお、本講義は「相談援助演習3・5」と連動して行われる。学生は5つのグループに分かれ、各教員が担当するテーマをローテーションで全て受講する(3年次後期まで)。</p>											
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 相談援助の対象者及び地域が抱える課題とその社会的背景について理解できる。 相談援助の展開過程について理解し、実践できる。 相談援助で活用される知識・技術について理解し、実践できる。 相談援助の実践モデル・アプローチについて理解し、実践できる。 相談援助を専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる。 											
達成度評価												
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考				
総合評価割合	0	0	0	30	20	50	100					
知識・理解 (DP1-1)				6	2	5	13					
知識・理解 (DP1-2)				6	2	5	13					
知識・理解 (DP1-3)												
知識・理解 (DP1-4)												
思考・判断 (DP2-1)				3	2	5	10					
思考・判断 (DP2-2)				3	2	5	10					
関心・意欲 (DP3-1)				3	2	5	10					
関心・意欲 (DP3-2)				3	2	5	10					
態度 (DP4-1)												
態度 (DP4-2)												
態度 (DP4-3)					4	10	14					
技能・表現 (DP5-1)				3	2	5	10					
技能・表現 (DP5-2)				3	2	5	10					
技能・表現 (DP5-3)												
具体的な達成の目安												
理想的レベル				標準的なレベル								
相談援助の実践モデル・アプローチに基づき対象者の課題解決に向けた支援を検討できる。また、相談援助の支援を概念化・体系化し、他者に示すことができる。				相談援助の対象者が抱える課題とその社会的背景について理解できる。また、課題解決に向けた知識・技術の活用を検討できる。								
授業計画												
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)			予習・復習時間(分)				

1	<p>【課題別の事例検討】 実務家教員としての実践経験を踏まえ、福祉的課題を抱えた人々に対する相談援助の事例について以下の内容を教授する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事例検討の目的と意義について解説する。 2. 相談援助の対象者理解及び対象者が抱える課題とその社会的背景について解説する。 3. 具体的な支援の展開過程や支援計画の立案等について指導を行う。 4. 支援過程において活用される支援技術(アウトライチ、チームアプローチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発等)について指導を行う。 <p>※学生は5グループに分かれ、グループごとに</p>	演習	事例検討の内容についての復習	30
2	<p>【課題別の事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。</p>	演習	事例検討の内容についての復習	30
3	<p>【課題別の事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。</p>	演習	事例検討の内容についての復習	30
4	<p>【課題別の事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。</p>	演習	事例検討の内容についての復習	30
5	<p>【課題別の事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。</p>	演習	事例検討の内容についての復習	30
6	<p>【課題別の事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。</p>	演習	事例検討の内容についての復習	30
7	<p>【実習後の実技指導】 前期実習での体験を踏まえ、相談援助で活用される知識・技術の習得に向けた集団及び個別指導を行う。 ※実習後の実技指導は、実習終了直後の授業で行う(1回)。</p>	演習	当該内容についての復習	30
8	<p>【課題別の事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。</p>	演習	事例検討の内容についての復習	30
9	<p>【課題別の事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。</p>	演習	事例検討の内容についての復習	30
10	<p>【課題別の事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。</p>	演習	事例検討の内容についての復習	30
11	<p>【課題別の事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。</p>	演習	事例検討の内容についての復習	30
12	<p>【課題別の事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。</p>	演習	事例検討の内容についての復習	30
13	<p>【課題別の事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。</p>	演習	事例検討の内容についての復習	30
14	<p>【課題別の事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。</p>	演習	事例検討の内容についての復習	30
15	<p>【課題別の事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。</p>	演習	事例検討の内容についての復習	30
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	相談援助の基本的視点及び課題別の事例ごとに社会資源(フォーマル・インフォーマルを含む)に関する知識、支援技術を必要とします。			
テキスト	なし			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書:適宜紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	新聞や関連雑誌等に目を通す習慣をつけ、様々な福祉的課題の現状について理解を深めておくこと。			
達成度評価に関するコメント	講義内の発表、課題の内容・提出状況、その他(授業参加意欲、グループワーク時の発言、発言内容、リーダーシップ、協力度)で評価します。 詳細は初回の授業で示します。			